

## 中山間ふるさと水と土基金事業について

島根県は、中山間ふるさと水と土基金を造成（国1/3、県2/3）し、中山間地域の活性化のための地域住民活動を支援しています。

中山間ふるさと水と土基金は、「中山間ふるさと水と土保全対策事業（水と土基金）」と「中山間ふるさと水と土保全推進事業（棚田基金）」の2つから成り、それぞれの基金の活用についての御相談は、お近くの県土整備事務所等へお問い合わせください。

なお、本基金は市町村が直接活用することはできません。

### 1 中山間ふるさと水と土保全対策事業（水と土基金）

#### （1）水と土基金の概要

水と土基金は、農地や水路・農道・ため池等の土地改良施設が持つ多面的機能の発揮とこれらを保全・整備する地域住民活動（保全活動、交流活動）を支援するものです。

対象地域：5法指定地域

（過疎・山村振興・半島振興・離島振興・特定農山村法のいずれかを含む地域）

#### （2）水と土基金を活用した活動事例

##### （1）調査研究事業

- ・農地の荒廃や土地改良施設の老朽化等の現状把握と診断・評価を行い、農地や土地改良施設等地域資源の計画的・効率的な維持管理手法を検討
- ・畦畔除草に係る労力省力化のためのカバープランツ実証実験
- ・地域住民でも取り組める簡易なため池応急整備の実証実験を行い、事例集を作成
- ・生き物調査やマップ、図鑑の作成及びこれらを活用した環境保全活動（写真1）
- ・耕作放棄地解消に向けた水土里情報システム（地図情報）の利活用検討

##### （2）推進事業

- ・ため池の安全啓発や維持管理の看板作成、設置(写真2)
- ・農業農村の大切さや農業農村整備事業の役割についての小学校への出前授業



（写真1）小学校での観察学習



（写真2）ため池啓発看板

## 2 中山間ふるさと水と土保全推進事業（棚田基金）

### （１）棚田基金の概要

棚田基金は、棚田地域の住民が、都市の皆さんの参加を得ながら取り組む棚田保全の活動を支援するものです。

棚田地域とは：階段状に広がる地形勾配が 1 / 20 以上の農地（＝棚田）が全体農地面積の半分以上ある地域。

### （２）棚田基金を活用した活動事例

#### （１）都市と農村の交流促進

- ・棚田体験、交流イベントの開催（山王寺「たんぼの学校」）(写真 1)
- ・棚田散策のための遊歩道の整備
- ・棚田オーナー制度、トラスト制度の支援（オーナー田の湧水処理、オーナー・トラスト募集用チラシの作成）

#### （２）棚田の情報発信・広報

- ・棚田地域を P R するパンフレットの作成
- ・看板の設置（棚田を紹介する看板、主要道路から棚田まで誘導するための案内看板）

#### （３）棚田と棚田の交流促進

- ・棚田保全に取り組む地区が連携し、棚田保全対策などを協力して実施する「しまねの棚田ネットワーク」の設立、運営（写真 2）



（写真 1）山王寺 たんぼの学校



（写真 2）棚田ネットワーク情報交換会

## 3 水と土基金・棚田基金の問合せ先（活動支援の説明、相談）

松江県土整備事務所農林工務部(農村整備課	0 8 5 2 - 3 2 - 5 6 5 0 )
雲南県土整備事務所農林工務部(ほ場防災課	0 8 5 4 - 4 2 - 9 5 4 2 )
出雲県土整備事務所農林工務部(農村整備課	0 8 5 3 - 3 0 - 5 5 6 7 )
県央県土整備事務所農林工務部(農村整備課	0 8 5 5 - 7 2 - 9 5 5 5 )
大田事業所(農村整備課	0 8 5 4 - 8 4 - 9 7 6 7 )
浜田県土整備事務所農林工務部(農村整備課	0 8 5 5 - 2 9 - 5 5 9 7 )
益田県土整備事務所農林工務部(農村整備課	0 8 5 6 - 3 1 - 9 6 0 0 )
隠岐県土整備局 農林工務部(農村整備課	0 8 5 1 2 - 2 - 9 6 4 4 )



# 【水と土基金】

## 水田の汎用化に向けた既設暗渠排水の活用方法 実証実験【松江市鹿島町、雲南市掛合町】

水田をフル活用して、麦・大豆等の戦略作物や地域振興作物を栽培していきなで、畑作物の生産性向上が求められており、水田では、より一層の排水性改善や水管理の効率化を行っていく必要がある。

一方、島根県内のほ場整備済み水田の多くは、昭和時代に整備を終えており、整備後相当の年数が経過しているため、経年変化による暗渠排水機能の低下が懸念されているこのことから、暗渠排水機能が低下した水田において、水管理機能の追加と排水機能の回復に向けた整備手法を検証することとした。

**事業目的(1/3)**

【現状】  
昭和時代のほ場整備により、硬質排水を維持した地域が多く存在。  
経年変化による排水機能の低下が顕著かつある。  
今後、地盤崩壊を抑制し、農地の保全を図っていくためには、再整備が急務。

○保水機能の向上は昭和時代(1)の施工  
保水機能の向上は昭和時代(1)の施工  
保水機能の向上は昭和時代(1)の施工

**事業目的(2/3)**

【課題】  
農村地域の高齢化や担い手不足。  
労働を軽減するためには、  
水管理等の減労力軽減やコストの削減を図っていく必要がある。

**事業目的(3/3)**

【対応】  
本事業により、硬質排水施設の改良と水管理の省力化に係る効果的な整備手法の検証。  
多面的機能を持つ農地の生産を通じた効果的保全を達成。

実証計画図  
(備後南部地区 粘性土・中山間地)

【調査事項1】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項2】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項3】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項4】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項5】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項6】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項7】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項8】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項9】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

【調査事項10】  
① 地すべり防止  
② 硬質排水施設  
③ 排水施設改良

## 農村環境調査【江津市市山地区】

保全活動で復田したやぶさめの棚田周辺にはイチョウウキゴケ、ケラ、ドジョウ等が多くみられるほか、やぶさめのため池はモリアオガエルの産卵場所になっている。また隣接する江尾地区内の排水路にはオヤナミ等の希少種が発見されるなど、生物資源が多く存在している地域であり、市山環境協議会ではこれらの生物資源の保全やその活用を通じて地域の活性化を図る方針である。

生き物調査、生き物マップ(保全マップ)等作成、ワークショップ等を行い、今後の活動に活かしていく。また、この調査結果を踏まえ、生態系に配慮した水路等の保全事例となる本地区の整備手法を、類似の他の農地・水組織へも普及していく。



ワークショップ

生き物の調査



生きもの図鑑



生きものマップ

## 中山間地域における畦畔法面除草作業 省力化の検証【安来市赤屋地区】

中山間地域における営農においては、除草作業に多大な労力を要し、近年の急速な過疎・高齢化の進行もあり、除草作業の負担が耕作放棄地の発生・増加の要因となっている。そこで、除草作業の負担を軽減するため法面に土壌硬化剤を添加する実証試験を行い、その抑草効果を検証し、防草対策として導入に結び付けたい。

固化材混合



法面転圧



完成状況



## ビオトープづくり調査研究事業【津和野町堤田地区】

堤田地区は、水田、水路等にはカブトエビ、ホウネンエビなどの希少な水性生物が生息し、地域内で生産される減農薬米は「めだか、カブトエビ、豊年エビが宿る里『つつみだのこしヒカリ』」として販売されるなど、環境に対する配慮や農村の景観づくりに高い関心を有する地域である。

このような地域特性を背景に、地域住民が主体となった計画から整備、管理の手法の検討を行う生態系保全型水路の実証試験として、平成22年度この地域の中央部を流れる水路にビオトープを整備した。



洗川ビオトープ



説明看板

## 【水と土基金】

### ふるさと水と土指導員全国研修会

農地や農業用水など農村地域を保全・活用するための地域住民活動(保全活動、交流活動など)の指導、助言を行う人材(ふるさと水と土指導員)の育成、能力の向上等を目的として実施される「ふるさと水と土基金全国研修会」に棚田保全組織や農地・水保全管理支払交付金の活動組織等の地域住民組織のリーダー的立場の方を派遣し、その後の地域住民活動に活かされています。

#### 近年の参加状況

平成24年度 2名  
 平成25年度 1名  
 平成26年度 1名  
 平成27年度 8名  
 平成28年度 1名  
 平成29年度 2名  
 平成30年度 1名

#### ふる水指導員登録数

73名(H30.7現在)

#### 修了証書

鳥根県 殿

第22回ふるさと水と土基金全国研修会において所定の全課程を修了したことを証する。

平成29年2月2日

ふるさと水と土基金ネットワーク事務局  
 全国水と土基金ネットワーク  
 (公益財団法人水と土基金)

全国水と土基金ネットワーク会長  
 二階俊博

#### 研修修了証



#### 研修会の様子

## 【棚田基金】

### しまねの棚田ネットワーク

鳥根県には「日本の棚田百選」に選定された7つの棚田をはじめ多数の棚田が存在し、それぞれの地域において、棚田の保全活動や都市住民等との交流活動などが行われています。

この保全活動・交流活動をより効率的に行う上で、地域間相互の情報交換や意見交換を行い、あるいは活動手法を検討する場ため、関係団体・機関等により構成する「しまねの棚田ネットワーク」を設置し、定期的に情報交換、現地視察、検討会等を開催することにより、棚田地域相互間のネットワーク化を図っています。

#### 棚田ネットワーク参加団体

棚田地域等	関係市町	関係県機関等	備考
山王寺	雲南市		
大原新田	奥出雲町	雲南県土整備事務所	
追谷			
いわけ			
神谷	邑南町	県央県土整備事務所	
上田・平佐			
佐津目	大田市	大田事業所	子ご美の里
西田			ヨズクの里
都川			
米尾	浜田市旭支所	浜田県土整備事務所	
坂本			
室谷	浜田市三隅支所		
中垣内	益田市	益田県土整備事務所	
大井谷	吉賀町	松江県土整備事務所	
		出雲県土整備事務所	
		隠岐支庁県土整備局	
		本庁農村整備課	
		水と土ネットワーク鳥根	
14地域	7市町	10機関	



#### 情報交換会の様子

### 棚田PR活動

各種イベントへの参加やパンフレットを作成し、棚田地域での取組等を広くPRする。

#### 【しまねふるさとフェア】



- ・棚田米すくい取り
- ・棚田米販売
- ・オーナー制度PR

- ・活動パネル展示
- ・棚田保全に関するアンケートの実施

#### 【しまね棚田元気ネット】



ホームページによる活動情報等の発信

#### 【しまね棚田めぐり旅】



棚田パンフレットを作成し情報を発信



## 【棚田基金】

### 地域活動支援

各棚田組織で実施するイベントやPR活動の支援を行っています。

【活用事例】



田んぼの学校活動支援  
(雲南市 山王寺)



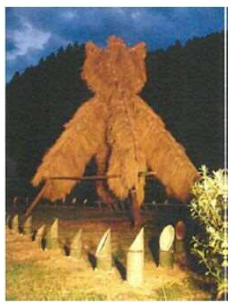
ワークショップの開催  
(雲南市 山王寺)



棚田カードの作成  
(県内)



オーナー募集チラシ  
(邑南町 神谷)



ヨズクハデライトアップ  
(大田市 ヨズクの里)



ヨズクの里フォーラム開催  
(大田市 ヨズクの里)



イベント用法被の製作  
(邑南町 羽須美)



イベント用幟の製作  
(大田市 子ご美の里)

### 棚田交流施設等の整備

棚田組織が行う交流施設等の整備のための支援を行っています。

【活用事例】



棚田周辺マップの設置  
(大田市 子ご美の里)



展望台東屋の補修  
(吉賀町 大井谷)



棚田石垣の補修  
石積み手順書の作成  
(吉賀町 大井谷)



オーナー田湧水路整備  
(雲南市 山王寺)



散策道の整備  
(浜田市 室谷)



案内看板の設置  
(浜田市 都川)



展望台階段、手摺の補修  
(吉賀町 大井谷)



オーナー耕作道路の補修  
(吉賀町 大井谷)